

## 単元の学習地図で目指す「深い学び」～「知識の構造化」の視点を取り入れた学習～

### 配布プリント

#### 課題「第1章の学習地図を作成する」

##### 目的

- これまでの学習内容を振り返ることで理解を深める。
- 個々の学習内容を適切に関連付けることができる。
- 学習内容の「幹」と「枝」を区別する練習をする。
- 独創的、創造的な発想の練習をする。
- プレゼンテーションを経験し、他の班との比較を通じてプレゼンテーションスキルを高める。

##### 課題

- ※グループで取り組み、各自でノートにまとめてください（ノートを提出してもらいます）。
- ※実習の最後にグループごとにプレゼンテーション（3分）をしてもらいます。

- 課題1 これまでの学習内容を振り返り、内容がどのように関連しているか整理し、単元の全体像がどうなっているか整理せよ。
- 課題2 課題1でまとめた内容を、「幹」と「枝」に整理せよ。
- 課題3 いずれかの学習内容について、オリジナルの「例え」を考案せよ。
- 課題4 課題2、課題3の内容を基に、第2章の学習地図をA4一枚でまとめよ。
- 課題5 まとめた「学習地図」について、3分間でプレゼンテーションをせよ。  
※形式自由。  
※iPhone 接続可能。黒板使用可能。  
※「わかりやすく」「面白く」を意識すること。

##### 考えるヒント

- 言葉の意味、言葉どうしのつながり
- 概念・用語の「階層構造」
- 何を、どこまで掘り下げるか
- 例えのメリット、デメリット

### 課題の意図

#### 課題1、課題2：学習内容の整理

- ・学習内容の振り返りと関連付け
- ・「幹」と「枝」を区別する練習

#### 課題3：「例え」の考案

- ・独創的、創造的な発想の練習
- ※単に「まとめる」だけよりも思考が発散しやすくなる。  
※「まとめる」とは異なる「資質・能力」を発揮もしくは育成することができる。  
※国語科・井出先生の授業実践から

#### 課題4：学習地図の作成

- ・情報の整理と表現の練習
- ※情報の取捨選択をする必要がある。  
※どのくらいの文字の大きさでどの位の量の情報を入れ込むかも考える必要がある。  
※レイアウトやイラストの挿入など、「型」を示さないことで発想と表現の練習を行う。

#### 課題5：プレゼンテーション

- ・プレゼンテーションの経験
  - ・他の班からの学び
- ※単に「発想する」「まとめる」だけでなく、「プレゼンを行う」機会も入れて、様々なコンピテンシーの要素を入れる。  
※「相互評価」によってモチベーションが高まり、互いに学び合える。

## 「振り返りシート」項目と集計結果

### 個人課題

- ① 学習地図の優れていた班（3つ選ぶ）
- ② プレゼンテーションの優れていた班（3つ選ぶ）
- ③ 今回の課題でグループ内で自分が果たした役割と貢献度（%）
- ④ 今回の課題でうまくいったことは何か記述してください。
- ⑤ 今回の課題で見出した自分の課題とその原因は何か記述してください。
- ⑥ 上記の課題に対して、自分はどのように取り組みたいか記述してください。

### ディスカッション課題（グループ内）

- ⑦ グループのメンバーと、この課題を通じて感じた「強み」について意見交換し、自分で感じる自分の「強み」と、他者から指摘された自分の「強み」をまとめよ。
- ⑧ 他のグループの発表を聞いて刺激を受けたこと、参考になったこと
- ⑨ 気付き・感想等

### 自己評価と集計結果

各項目に関して、以下の1～5の中で当てはまるものに○をつけて下さい。

- 1：達成できなかった    2：あまり達成できなかった    3：どちらともいえない  
 4：十分とはいえないがある程度達成できた    5：十分に達成できた  
 ※否定＝1と2の合計（%）    肯定＝4と5の合計（%）  
 ※いずれも、提出人数に対する割合で算出

		第1回(129人)		第2回(105人)		第3回(133人)	
		否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定
1	他者に教えることで理解を深める。	10.9	55.0	18.1	54.3	17.3	48.9
2	自分の考えを他者に適切に伝える。	7.0	66.7	7.6	60.0	6.8	60.9
3	「わかっていること」と「わからないこと」を区別する。	3.9	71.3	4.8	61.9	9.0	66.2
4	話し合いの中で他者の意見を取り入れながら自分の意見を柔軟に変える。	4.7	71.3	9.5	66.7	6.8	63.9
5	知りたいことに関して、適切に情報収集する。	5.4	71.3	11.4	61.9	11.3	50.4
6	検索した情報がどの程度信頼できるものか判断する。	10.1	51.2	16.2	45.7	15.8	38.3
7	教科書に書かれていることや教師の説明を鵜呑みにせず疑う。	29.5	36.4	29.5	31.4	31.6	23.3
8	わからない問題を前にして、すぐに「答え」を探しに行くのではなく、まず自分で考える。	6.2	63.6	6.7	57.1	9.8	52.6
9	単元の学習内容全体を関連付け整理する。	7.0	72.9	10.5	61.9	9.0	63.9
10	対話の中で新しいアイデアを出す。	7.8	74.4	16.2	55.2	5.3	63.9
11	人前で物怖じせずに発表する。	12.4	64.3	11.4	63.8	16.5	53.4
12	わかりやすくプレゼンテーションを行う。	15.5	45.7	10.5	44.8	12.8	44.4
13	「よい聴衆」であろうとする。	3.9	82.9	8.6	81.0	1.5	79.7
14	教員の指示がなくても自ら判断し行動する。	2.3	63.6	6.7	59.0	3.8	52.6
15	時間を最大限有効に使う。	17.1	56.6	14.3	58.1	17.3	54.9
16	「わからないこと」「困ったこと」があるときには、一人で解決しようとせず、適切に他者に助けを求める。	2.3	76.7	7.6	81.9	5.3	74.4
17	他者のプレゼンやレポートから積極的に何かを学ぼうとする。	0.8	83.7	8.6	77.1	2.3	81.2
18	自分の周囲の人の面白さを積極的に見つける。	0.8	86.0	8.6	77.1	3.0	84.2

## 生徒の振り返りシートより

### 「復習」「まとめ」の要素

- このような形で今までの学習をまとめてみると、自分が理解できていたとどこできていなかったところを区別でき、これからの学習のヒントになった。他の人の考え方も取り入れてもう一度自分で考えることでさらに理解を深められた。
- 今までの学習であやふやだった部分を班で話し合うことで解消できた。また、他の班のプレゼンテーションの例なので覚えられていなかったところも覚えることができた。
- 今回、第1章の1節から3節を学びましたが、1節2節3節と言うように分けられていたとしても内容はしっかりつながっているのだなと感じました。学んだ範囲を総合して振り返ってみることで今まで見えていなかった全体のつながりを意識できたように思います。

### 「教わる」ではなく「気付く」

- 面白くても内容が頭に入っていないプレゼンはダメだと分かった。面白くて内容もわかりやすいプレゼンを目指したい。
- 例えが面白い発表は、例えをかなり具体的なものに行っていることが多い。そうすると面白いだけでなく非常にイメージがしやすいので引き込まれる。
- 今回のテーマに対する目的は「クラスみんなに第1章をもっと理解してもらうこと」。それに向けて大切な要素に気付いた。まず①大体の大枠を最初にとらえる②細かいところでわかりにくいところは例えを使って面白く理解しやすく（ここで例えと言うのはわかりやすくするものなので複雑に置き換えるのはかえって逆効果。またみんなが知っているものをチョイス）ということ。プレゼンは決まっているのは時間だけなのでまだまだいくらでも工夫できると思う。面白くなってきた。
- 今回私たちの班は例えに凝ってしまった結果、幹と枝の説明が少なくなってしまったので次回からは言うべき事は何なのかをしっかりと把握し時間を有効に使えるようにしたいです。
- ベン図や例えを使ってこの単元の内容はすべてつながっていることを示している班が何班もあり、一見少し違うカテゴリかなと思ってたものがつながったりして面白かった。
- 配布資料は文字数を少なくして要点を絞ればもっと伝わりやすいのではないかな。
- 他の班のレジュメを見て、私が書いたレジュメは文字ばかりだったけれど、やっぱり多少絵があった方が読む側として読みやすいと思う。後は面白さを取り入れるためには、やはり内容も大事だけどプレゼンの仕方が最も重要だなと思った。
- 今回のプレゼンテーションから真面目に正説明していくことが発表ではなく「どうやったら見ている人を楽しませ自分たちの発表に引き込ませることができるのだろう」といったところまでしっかり考える必要があることがわかりました。私も次からは何か面白いことも加えてみんなを話に引き込むことができるように日ごろから面白い例えに結びつけて物事を考えていこうと思います。
- まとめ方も発表の仕方も班それぞれでした。私の班は広く浅くまとめて説明した感じでしたが、何かをピックアップした班や動画を使っていた班もあってわかりやすかったので参考にしたい。

### 「対話的な学びの価値」

- 1人で行うとただの「まとめ学習」になるが、何人かで意見を出し合えば自分だけでは気づけなかったことに気づけたり、画期的な(突飛な)アイデアが生まれたりする。これは1人での「まとめ」よりも貴重な学びであった。今後もっと積極的に話し合いに参加すればより充実したものになると思う。
- 自分で教科書や資料集を見て何かをまとめていくよりも、こうやってみんなの知識や意見を組み合わせるとまとめたほうがよくわかった。
- 初のPBL、とても難しかったが、こうして振り返る時間があるからこそよりわかることができた。またそこから新たな疑問が生まれたらまたみんなですべて解決し、知識を増やしていけるこの時間は、楽しくとても濃い時間だなと思いました。

### 「多様性」への気付き・活動

- 班員それぞれに得意とする部分があるのでそれをうまく組み合わせより良い発表を作っていきたいです。
- クラスにはプレゼンや話すのが得意な人もいればレポートを書くのが得意な人もいることを改めて実感した。それぞれの得意なところを生かし苦手なところを補いながら協力することが大切だと思った。私はどちらもあまり得意ではないので得意な人を少しずつ見習っていきたい。

### 「失敗」の価値

- 準備の段階である程度わかっていたことだが、プレゼンは本当にグダグダのひどいものになってしまった。全部自分でやろうとするとサクサクことが進むけど、負担も大きいし何よりアクティブラーニングの意味があまりなくなってしまう。でも、かといってみんなですべてやろうとすると時間内で収まらないことがほとんど。時間配分役割分担って本当に難しいなと思った。

## 個人のHP（授業プリントや各種資料の公開）

生物「を」まなぶ視点 生物「で」まなぶ視点

<http://biologymanabiai.jimdo.com/>